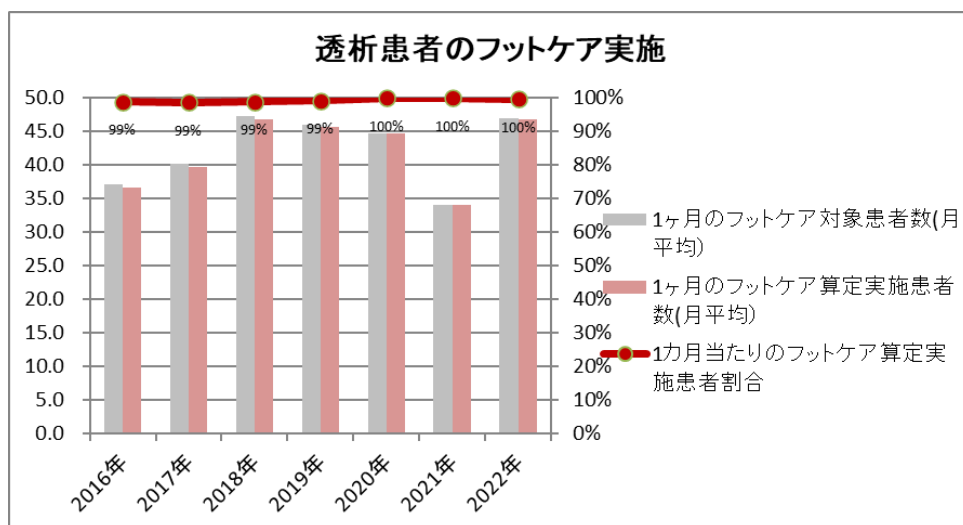




## 透析患者へのケア

### <透析患者へのフットケア>

糖尿病性腎症などにより透析治療を受けておられる患者の足は、足の冷え・痺れ・痛み、潰瘍(皮膚や粘膜が様々な原因で傷害され、それが進行することによっておこる組織の欠損)の形成、~~—~~などが起こりやすくなっています。その原因は動脈硬化や末梢血管障害のために血液の循環が悪くなるからです。さらに、傷(潰瘍)が悪化し、壊疽に陥った場合、足の切断に至る場合もあります。また、糖尿病の患者は、神経障害により足の感覚が鈍くなり、足の異常の早期発見を困難にしてしまいます。そのため、フットケアを通して、足の症状の早期発見・早期治療に努める必要があります。



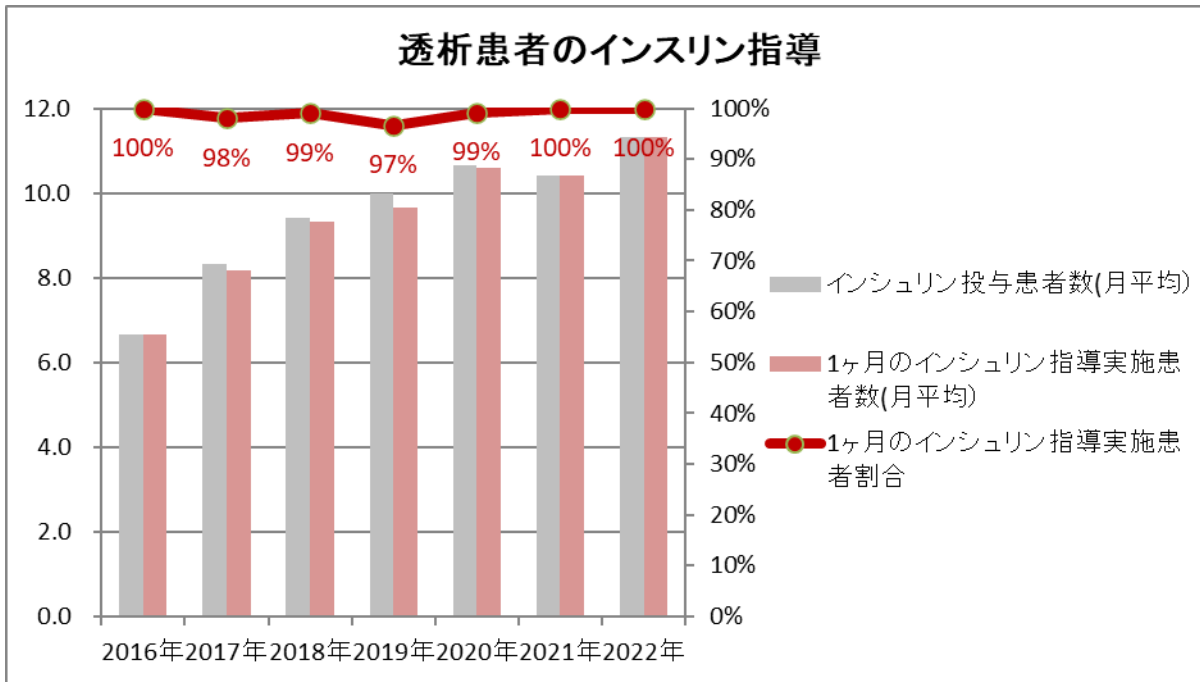
	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1ヶ月のフットケア対象患者数(月平均)	37.1	40.3	47.3	46.1	44.7	34.0	47.0
1ヶ月のフットケア算定実施患者数(月平均)	36.7	39.8	46.8	45.8	44.7	34.0	46.8
1カ月当たりのフットケア算定実施患者割合	99%	99%	99%	99%	100%	100%	100%

当院隣接診療所すこやか診療所透析センターでは年間目標の一つに患者の下肢救済に努めるという事項を挙げています。下肢救済とはつまり下肢切断の回避であり、そのための対策としてフットケア実施率 100%などを目標として全スタッフが意識して取り組んでおり、2016年以降98%以上を維持しています。

## <インスリン投与患者へのインスリン指導>

透析導入原因疾患の第一が糖尿病性腎症です。糖尿病性腎症は、網膜症、神経障害と並んで、糖尿病の三大合併症の一つであり、糖尿病性細小血管障害の代表です。日本人では2型糖尿病患者の32%が糖尿病性腎症を合併しています。透析導入後も、糖尿病の適切なコントロールが、その後の網膜症、起立性低血圧、四肢の潰瘍・壊疽、心血管合併症などの防止に大きく影響します。

すこやか透析センターへ通院されている患者の内、インスリン投与患者へのインスリン指導実施率は2016年以降97%以上を維持しています。



	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
インスリン投与患者数(月平均)	6.7	8.3	9.4	10.0	10.7	10.4	11.3
1ヶ月のインスリン指導実施患者数(月平均)	6.7	8.2	9.3	9.7	10.6	10.4	11.3
1ヶ月のインスリン指導実施患者割合	100%	98%	99%	97%	99%	100%	100%